２００７年（平成19年）　２月２６日（月曜日）　夕刊　矢祭　東舘字桃木町42　夕刊矢祭新聞社　昭和57年12月6日第３種郵便物認可
（NO，９６６４）　先　負（旧 1月 9日）　発行人　菊池正典　☎46-3508　日刊（日曜、祭日、第二・四土曜休刊）　月額 1,000円

ＳＭＣ㈱と土地売買契約
第三工業団地
きょう東京本社で調印式

１７．７ｈａの造成工事が完了
２千人の基幹工場建設へ前進！

五月十日平成十七年七月二十七日東京・エムアイプラザ（株）本社で調印式が行われた。

矢祭町と株式会社ＳＭＣ（本社・東京都千代田区）との土地売買契約調印式は、東京本社の一室で、矢祭町から根本町長、大徳副町長、西田議長、高橋洋一商工会長、ＳＭＣから代表取締役社長の片野勝氏、常務取締役の古川芳治氏、営業本部長の坂本善英氏が出席して行われた。

調印式では、根本町長と片野社長が契約書に署名、押印を行い、契約書を交換した。

契約内容は、矢祭町が造成した第三工業団地（約17.7ha）を、ＳＭＣが約9億5千万円で買い取るというもの。

第三工業団地は、矢祭ニュータウンの南側に隣接する地区で、平成十年度から十六年度にかけて造成工事が進められ、現在は環境整備も実施され、下関河内字中山、周辺や工業用水道関係の施設など道路も整備された。

工区に分けて進められ、第一工区～第五工区の総事業費約九億五千万円で第三工業団地へ六年度から十三年度まで、国内基幹工場を建設し、従業員二千人規模の生産拠点にする構想を掲げ、その実現に向けて地内から第三工業団地へのアクセス道路四百四十三メートルも改良工事中で、ＳＭＣ新工場誘致に関る総費用は十六億円を投入している。

ＳＭＣは当初計画で、工業団地を取得後、平成二十三年度までに国内基幹工場を建設し、従業員二千人規模の生産拠点にする構想を掲げ、その実現に向けて大きく前進した。

（上の写真は完成した第三工業団地と周辺地域）

新組合長に佐藤庄平氏

東白川郡森林組合（副組合長＝佐藤庄平（矢祭町）▼副＝海野辰雄（矢祭町）▼副＝石井良夫（棚倉町）▼常務理事＝長田勇治（棚倉町）▼代表監事＝白坂善英（塙町）※他の役員名は後報。）

東白川郡森林組合（組合長＝佐藤庄平（矢祭町）▼副＝海野辰雄（矢祭町）▼副＝石井良夫（棚倉町）▼常務理事＝長田勇治（棚倉町）▼代表監事＝白坂善英（塙町）※他の役員名は後報。）

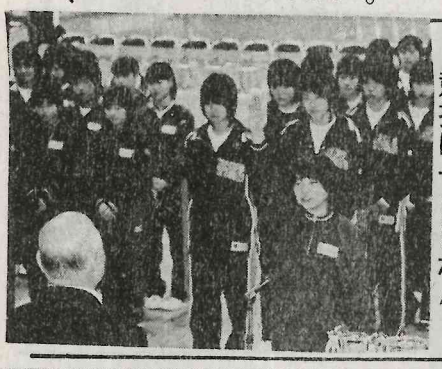
東白川郡森林組合（副

三県十三女子チーム参加
バスケットボール 中学越県交流東白川大会
矢祭中学校体育館を会場に

東白川ロータリークラブ（北川友喜会長）、東白川バスケットボール協会（鈴木健司会長）主催、矢祭町教育委員会など後援の第十回越県交流東白川大会は、二十四日～二十五日の二日間、矢祭中学校体育館において、三県十三中学校女子チームが参加して開いた。

地域活動にとどまることなく、広く交流の場を提供することにより、同世代の選手・指導者同士の出会いと友情を深めるとともに、技術の高揚をはかることを目的に、毎年矢祭中を会場に開いている。

今大会は東白川郡内から矢祭中、塙中、棚倉中、白河中央中、西郷一中、茨城県内から中郷中（高萩市）、北茨城市）、秋山中（茨城県）、明光中（日立市）、栃木県から駒王中（宇都宮市）、豊郷中（さくら市）、氏家中（宇都宮中（宇都宮市）の計十三中学校女子バスケットボールチームが参加した。

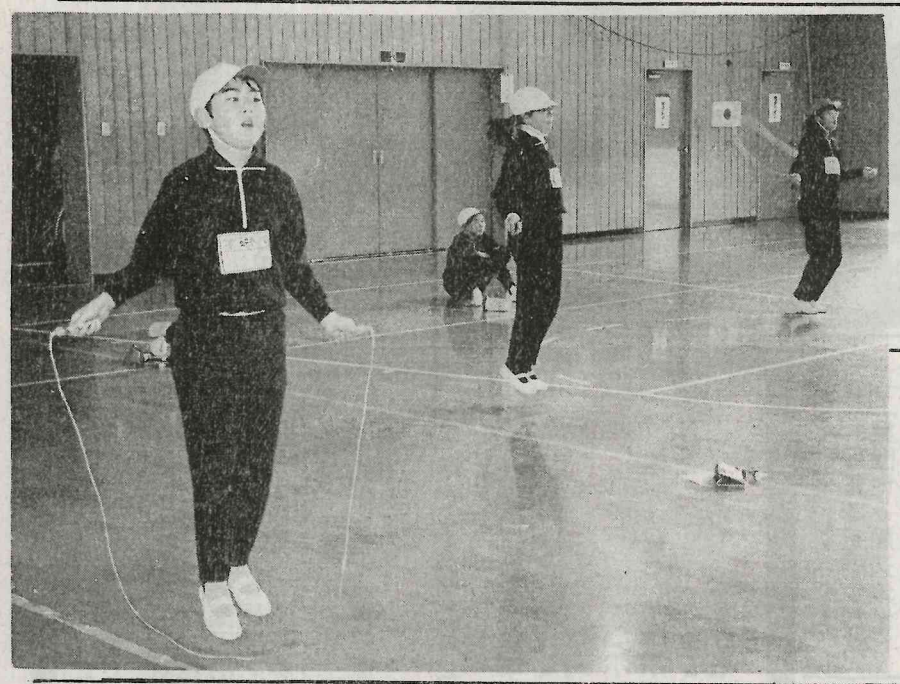


開会式では北川ロータリークラブ会長主催者挨拶、茨城、栃木県の五人を永年指導功労者表彰、根本良一矢祭町長来賓祝辞、吉成宏昭審判委員長競技上の注意、昨年優勝（白河中央中）・準優勝（中郷中）三位（秋山中）から大会杯返還、矢祭中主将の本多可南子さん選手宣誓が行われた。

競技は一日目がA・B・Cの三ブロック予選リーグ戦、二日目が両ブロック一・二位の四チームによる決勝トーナメント戦、同三・四位トーナメント戦、同五～六位トーナメント戦、同五・六位同士の九～十一位トーナメント戦を展開した。

秋山中が優勝

二日間にわたる熱戦の結果は次の通りとなった。◎優勝＝秋山中（高萩市）◆準優勝＝中郷中（北茨城市）▼三位＝雀宮中（宇都宮市）。



運動能力向上練習成果発表
石井小なわとび大会

石井小学校の校内なわとび大会は、二十二日・上学年、二十三日・下学年を対象に体育館で実施した。自分の体力向上のため目標とび運動を計画し、その習得させ、日頃の練習の成果を発揮しようとするいろいろな態度ができるようにと、持久とび競技をいろいろな種目で持久とびどこまで